

# 伊那谷・経済動向

## 中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

<http://www.alupuscho-shinkin.jp/>

ALSHIN  
BANK

主要指標		今期	前年同期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業案内所管内)		2020/2 1.29 倍	2019/2 1.72 倍	前年同月比 -0.43 倍
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新車	7,865 台	9,155 台	-14.09 %
	中古車	2,110 台	2,129 台	-0.89 %
	合計	9,975 台	11,284 台	-11.60 %
住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (伊那市、駒ヶ根市、上伊那郡)		12~2月 217 件	12~2月 251 件	-13.55 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数 (1/3~運休)		1,016 人	10,672 人	-90.48 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	257,844 台	269,410 台	-4.29 %
	出	246,561 台	255,609 台	-3.54 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	280,522 台	300,494 台	-6.65 %
	出	284,946 台	305,097 台	-6.60 %
中央道利用台数 (小黒川スマートインター分)	入	99,091 台	97,666 台	1.46 %
	出	101,053 台	100,652 台	0.40 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	215,962 台	238,182 台	-9.33 %
	出	218,312 台	237,814 台	-8.20 %
中央道利用台数 (駒ヶ岳スマートインター分)	入	51,992 台	49,903 台	4.19 %
	出	45,873 台	45,147 台	1.61 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	201,387 台	210,002 台	-4.10 %
	出	191,170 台	198,200 台	-3.55 %

前期10-12月 今期1-3月 来期4-6月 7-9月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先198社に対し、2020年1月~3月期の景気の現状と2020年4月~6月期の見通しを調査したものです。

## 地区内の景況観

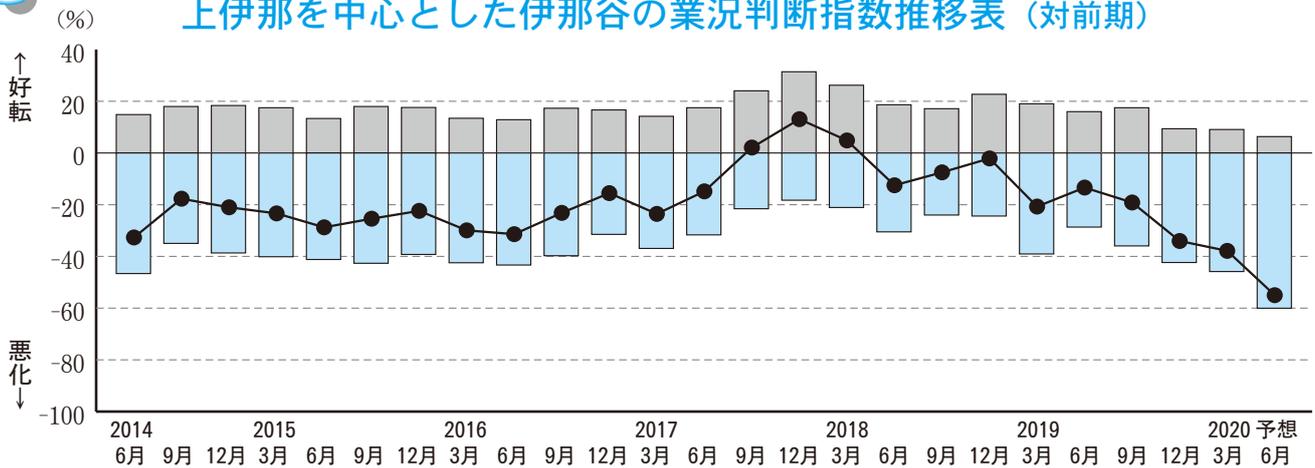
◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況を総合的に見ると、良かったとする企業は**9.6%**（前期**9.9%**）、悪かったとする企業は**47.2%**（前期**43.6%**）、DIは**▲37.6**（前期**▲33.7**）と**3.9**ポイントの下降で、業況感は厳しさを増した。

業種別のDIを見ると、**製造業▲50.8**（前期**▲43.8**）、**建設業0.0**（前期**7.5**）、**卸売業▲55.6**（前期**▲50.0**）、**小売業▲51.6**（前期**▲51.6**）、**サービス業▲50.0**（前期**▲52.4**）、**不動産業▲16.7**（前期**▲16.7**）で、プラス領域に留まった業種はなく、建設業を除いた業種はすべてマイナス領域となっている。前期と比較するとサービス業が**2.4**ポイント上昇で上向いたが、**建設業が▲7.5**ポイント、**製造業が▲7.0**ポイント、**卸売業が▲5.6**ポイントと後退している。また、**小売業**および**不動産業**は変化がなかった。

◇**来期の見通し**：来期の業況予想を総合的に見ると、良いと予想する企業は**6.7%**（今期**9.6%**）、悪いと予想する企業は**61.8%**（今期**47.2%**）、DIは**▲55.1**（今期**▲37.6**）で、今期を上回る悪化を予想している。

業種別のDIを見ると、**製造業▲60.0**、**建設業▲25.6**、**卸売業▲55.6**、**小売業▲71.0**、**サービス業▲70.8**、**不動産業▲66.7**ポイントとなっており、全ての業種でマイナス領域を予想している。今期と比較して、**卸売業**が水面下ながら変化がなかったものの、その他の業種は、**製造業が▲9.2**ポイント、**建設業が▲25.6**ポイント、**小売業が▲19.4**ポイント、**サービス業が▲20.8**ポイント、**不動産業が▲50.0**ポイントとそれぞれ悪化が強まる見通しとなっている。

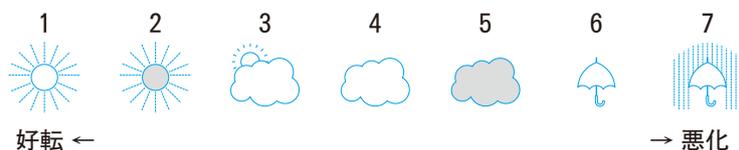
上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。  
 ※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。  
 なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

## 業種別天気図

業種	時期	2019年 7～9月期	2019年 10～12月期	2020年 1～3月期	2020年 4～6月期予想
総合		☁	☔	☔	☔
製造業		☔	☔	☔	☔
建設業		☁	☁	☁	☁
卸売業		☔	☔	☔	☔
小売業		☁	☔	☔	☔
サービス業		☔	☔	☔	☔
不動産業		☁	☁	☁	☔



## 製 造 業 (調査先企業73社 うち回答企業65社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**6.2%**（前期**9.4%**）、悪かったとする企業は**56.9%**（前期**53.1%**）で、DIは**▲50.8**（前期**▲43.8**）、**▲7.0**ポイントと水面下での更なる悪化となった。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは**▲49.2**（前期**▲26.6**）、収益のDIは**▲50.8**（前期**▲39.1**）、受注残のDIは**▲46.2**（前期**▲26.6**）と減少幅が拡大。価格の面でも、原材料価格のDIは**▲21.5**（前期**▲17.2**）で**▲4.3**ポイント、販売価格のDIも**▲9.2**（前期**▲1.6**）と**▲7.6**ポイントと減少幅が拡大し厳しさを強めている。資金繰りのDIは、**▲15.4**（前期**▲15.6**）と窮屈感は変わらない。借入れをした企業は**35.9%**（前期**32.8%**）と**3.1%**増加し、設備投資の実施をした企業は**40.0%**（前期**50.0%**）と**10.0%**減少している。

前年同期比で見ると、売上額はDI**▲55.4**（前年同期**▲31.4**）、収益はDI**▲53.8**（前年同期**▲40.0**）とそれぞれ**▲24.0**ポイント、**▲13.8**ポイントと水面下にて更に落ち込んでいる。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、業況のDIは**▲60.0**（今期**▲50.8**）と**9.2**ポイントの下降で、水面下において更なる悪化の予想をしている。

各指標別を今期と比べてみると、売上額のDIは**▲32.3**（今期**▲49.2**）、受注残のDIは**▲26.2**（今期**▲46.2**）、収益のDIは**▲38.5**（今期**▲50.8**）と少しずつ改善すると予想している。原材料価格のDIは**▲12.3**（今期**▲21.5**）、販売価格のDIにおいても**▲9.2**（今期**▲9.2**）と来期においても変わらず低迷予想、資金繰りのDIは**▲23.1**（今期**▲15.4**）と窮屈感が強まる見通しである。借入れを予定している企業は**23.1%**（今期実施**35.9%**）、設備投資の実施を予定している企業は**35.1%**（今期実施**40.0%**）となっている。

### ◆DI指数推移

	2019年				2020年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	▲22.9	▲11.8	▲33.8	▲43.8	▲50.8	▲60.0
売 上 額	▲30.0	▲22.1	▲30.8	▲26.6	▲49.2	▲32.3
受 注 残	▲20.0	▲29.4	▲41.5	▲26.6	▲46.2	▲26.2
収 益	▲42.9	▲30.9	▲30.8	▲39.1	▲50.8	▲38.5
販 売 価 格	▲8.6	▲4.4	1.5	▲1.6	▲9.2	▲9.2
原 材 料 価 格	▲30.0	▲26.5	▲16.9	▲17.2	▲21.5	▲12.3
原 材 料 在 庫	10.0	11.8	10.8	10.9	9.2	1.5
資 金 繰 り	▲12.9	▲13.2	▲15.4	▲15.6	▲15.4	▲23.1

### ◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
借 入 実 施	した	28.6	29.9	27.0	32.8	35.9	23.1
	しない	71.4	70.1	73.0	67.2	64.1	76.9
借 入 難 易 度	容 易	11.4	8.8	6.2	48.2	12.3	—
	不 変	70.0	67.7	73.8	44.8	70.8	—
	難	10.0	8.8	7.7	2.6	6.2	—
	該当なし	8.6	14.7	12.3	4.4	10.7	—

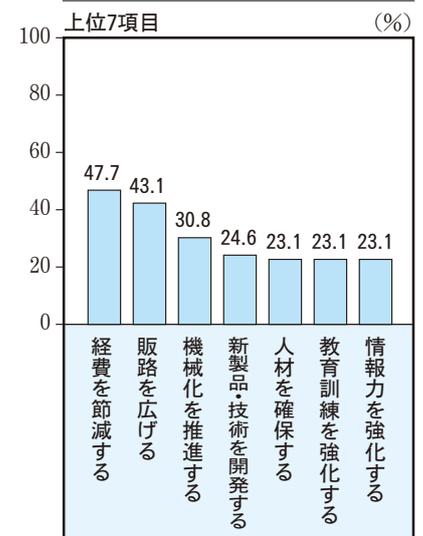
### ◆設備投資の動き(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
実 施	した	38.6	40.0	47.5	50.0	40.0	35.1
	しない	61.4	60.0	52.5	50.0	60.0	64.9
状 況	過 剰	2.9	5.9	9.2	7.8	4.6	6.3
	適 正	81.4	88.2	75.4	71.9	76.9	79.6
	不 足	15.7	5.9	15.4	20.3	18.5	14.1
DI	▲12.8	0.0	▲6.2	▲12.5	▲13.9	▲7.8	

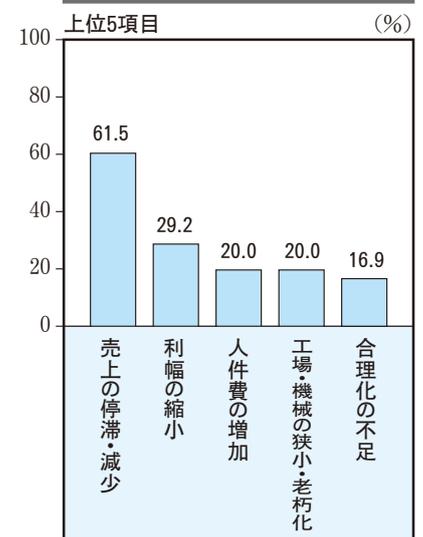
### ◆雇用面の動き(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
残 業 時 間	増 加	18.6	5.9	9.2	14.1	10.8	7.7
	不 変	50.0	57.3	57.0	48.4	46.1	56.9
	減 少	31.4	36.8	33.8	37.5	43.1	35.4
人 手	過 剰	7.1	7.4	13.8	14.1	15.4	20.0
	適 正	52.9	70.5	66.2	60.9	63.1	64.6
	不 足	40.0	22.1	20.0	25.0	21.5	15.4

### 重点経営施策(複数回答)



### 経営上の問題点(複数回答)



# 建設業

(調査先企業43社 うち回答企業43社)

◇**今期の業況**:今期の業況は、良かったとする企業は**16.3%**(前期**15.0%**)、悪かったとする企業は**16.3%**(前期**7.5%**)で、DIは**0.0**(前期**7.5**)と**7.5**ポイント下降で好調感は後退した。

各指標別を前期比で見ると、**売上額**のDIは**▲18.6**(前期**0.0**)で水面下に落ち込んだ。**受注残**のDIは**▲25.6**(前期**▲15.4**)と**▲10.2**ポイントで更に減少、**施工高**のDIは**▲4.7**(前期**2.5**)と**▲7.2**ポイントで水面下に落ち込んだ。**収益**のDIは**▲20.9**(前期**▲10.0**)と**▲10.9**ポイント減で更に減少した。価格面では、**請負価格**のDIは**0.0**(前期**▲7.5**)と回復の兆しがみえたが、**材料価格**のDIも**▲34.9**(前期**▲37.5**)と上昇幅はやや減少している。**資金繰り**のDIは**▲20.9**(前期**0.0**)に後退した。**借入れ**をした企業は**34.9%**(前期**39.5%**)、**設備投資の実施**をした企業は**41.7%**(前期**37.8%**)となっている。

前年同期比で見ると、**売上額**のDIは**▲20.9**(前年同期**▲4.9**)で**▲16.0**ポイント、**収益**のDIは**▲25.6**ポイント(前年同期**▲19.5**)で**▲6.1**ポイントとそれぞれ低迷している。

◇**来期の見通し**:来期の見通しについては、業況のDIは**▲25.6**(今期**0.0**)と**25.6**ポイント下降、悪化に転じる予想をしている。各指標別を今期と比べて見ると、**売上額**のDIは**▲14.0**(今期**▲18.6**)と減少に歯止めがかかり、**受注残**のDIも**▲2.3**(今期**▲25.6**)と減少は緩和される見通しであるが、**収益**のDIは**▲30.2**(今期**▲20.9**)と減少は強まる見通しである。**請負価格**のDIは**▲2.3**(今期**0.0**)とやや下降する見通し、**材料価格**のDIにおいては**▲39.5**(今期**▲34.9**)とやや上昇する見通しである。**資金繰り**のDIは**▲16.3**(今期**▲20.9**)と窮屈感はやや緩和される予想である。**借入れ**を予定している企業は**38.1%**(今期実施**34.9%**)、**設備投資の実施**を予定している企業は**39.6%**(今期実施**41.7%**)となっている。

※「売上高=完成工事高」、「施工高=出来高」、「請負価格=受注額」

## ◆DI指数推移

	2019年				2020年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	12.2	4.7	11.9	7.5	0.0	▲25.6
売 上 額	12.2	11.6	4.8	0.0	▲18.6	▲14.0
受 注 残	19.5	11.6	7.1	▲15.4	▲25.6	▲2.3
収 益	2.4	9.3	7.1	▲10.0	▲20.9	▲30.2
販 売 価 格	7.3	4.7	2.4	▲7.5	0.0	▲2.3
原 材 料 価 格	▲46.3	▲48.8	▲40.5	▲37.5	▲34.9	▲39.5
原 材 料 在 庫	0.0	4.8	2.4	0.0	2.4	▲4.8
資 金 繰 り	▲12.2	▲9.3	2.4	0.0	▲20.9	▲16.3

## ◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
借 入 実 施	した	46.2	50.0	35.0	39.5	34.9	38.1
	しない	53.8	50.0	65.0	60.5	65.1	61.9
借 入 難 易 度	容 易	5.0	4.9	7.3	5.4	7.0	—
	不 変	67.5	65.9	68.3	70.3	69.8	—
	難	12.5	14.6	12.2	13.5	7.0	—
	該当なし	15.0	14.6	12.2	10.8	16.2	—

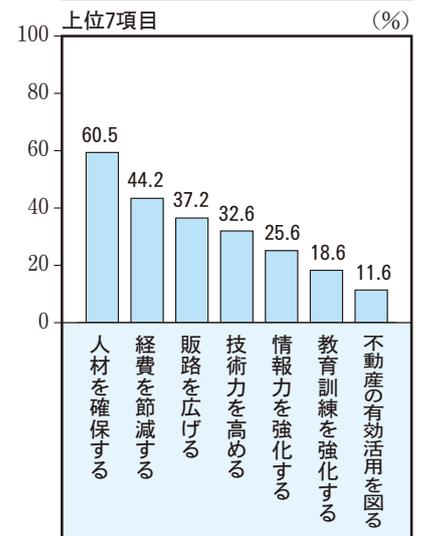
## ◆設備投資の動き(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
実 施	した	34.1	43.1	31.1	37.8	41.7	39.6
	しない	65.9	56.9	68.9	62.2	58.3	60.4
状 況	過 剰	2.4	7.1	0.0	0.0	2.4	2.4
	適 正	83.0	81.0	92.5	85.4	85.7	88.1
	不 足	14.6	11.9	7.5	14.6	11.9	9.5
DI	▲12.2	▲4.8	▲7.5	▲14.6	▲9.5	▲7.1	

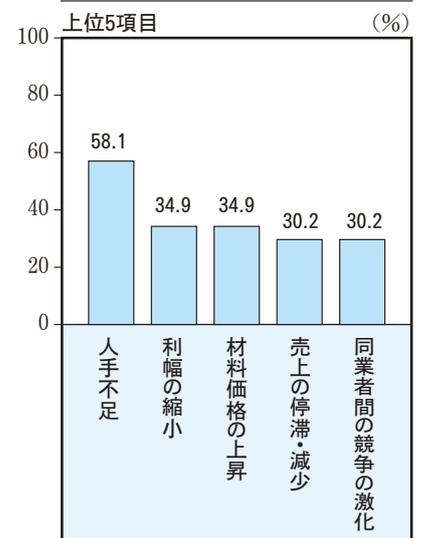
## ◆雇用面の動き(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
残 業 時 間	増 加	12.5	7.3	7.3	12.8	7.0	7.0
	不 変	70.0	70.7	78.1	74.4	72.2	72.1
	減 少	17.5	22.0	14.6	12.8	20.8	20.9
人 手	過 剰	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	2.3
	適 正	39.0	53.5	47.6	47.5	53.5	48.9
	不 足	61.0	46.5	52.4	47.5	46.5	48.8

## 重点経営施策(複数回答)



## 経営上の問題点(複数回答)



## 卸 売 業 (調査先企業10社 うち回答企業10社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**11.1%**（前期**10.0%**）、悪かったとする企業は**66.7%**（前期**60.0%**）で、DIは**▲55.6**（前期**▲50.0**）と**5.6**ポイント下降で厳しさを増している。

各指標別を前期比で見ると、**売上額**のDIは**▲70.0**（前期**▲50.0**）、**収益**のDIは**▲60.0**（前期**▲30.0**）とそれぞれ**▲20.0**ポイント、**▲30.0**ポイントと更なる減少で厳しさを強めている。**販売価格**のDIは**10.0**（前期**30.0**）と**20.0**ポイント下降したもののプラス領域に留まっている。**仕入価格**のDIは**0.0**（前期**▲30.0**）と改善している。**資金繰り**のDIは**▲40.0**（前期**▲10.0**）と厳しさが増した。**借入れ**をした企業は**40.0%**（前期**40.0%**）と変わらず、**設備投資の実施**をした企業は**0.0%**（前期**10.0%**）となっている。

前年同期比で見ると、**売上額**のDIは**▲70.0**（前年同期**11.1**）で**▲81.8**ポイント、**収益**のDIも**▲50.0**（前年同期**22.2**）で**▲72.2**ポイントとそれぞれ大きなマイナス転換となった。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、業況のDIは**▲55.6**（今期**▲55.6**）と変わらず、水面下にて低迷する予想をしている。

各指標別を今期と比べて見ると、**売上額**のDIは**▲10.0**（今期**▲70.0**）、**収益**のDIは**0.0**（今期**▲60.0**）とどちらも来期は改善する見通しである。価格面をみると、**販売価格**のDIは**0.0**（今期**10.0**）と上昇は弱まり、**仕入価格**のDIは**0.0**（今期**0.0**）と現状維持の見通しである。**資金繰り**のDIは**▲10.0**（今期**▲40.0**）と窮屈感は緩和される予想である。**借入れ**を予定している企業は**33.3%**（今期実施**40.0%**）、**設備投資の実施**を予定している企業は**0.0%**（今期実施**0.0%**）となっている。

## ◆DI指数推移

	2019年				2020年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	0.0	11.1	22.2	▲50.0	▲55.6	▲55.6
売 上 額	▲22.2	33.3	33.3	▲50.0	▲70.0	▲10.0
収 益	▲22.2	33.3	33.3	▲30.0	▲60.0	0.0
販 売 価 格	33.3	33.3	11.1	30.0	10.0	0.0
仕 入 価 格	▲44.4	▲44.4	▲11.1	▲30.0	0.0	0.0
在 庫	22.2	33.3	22.2	10.0	20.0	10.0
資 金 繰 り	▲11.1	0.0	▲11.1	▲10.0	▲40.0	▲10.0

## ◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
借 入 実 施	した	50.0	44.4	33.3	40.0	33.3
	しない	50.0	55.6	66.7	60.0	66.7
借 入 難 易 度	容 易	0.0	0.0	0.0	10.0	—
	不 変	100.0	77.8	77.8	60.0	—
	難	0.0	11.1	11.1	10.0	—
	該当なし	0.0	11.1	11.1	20.0	—

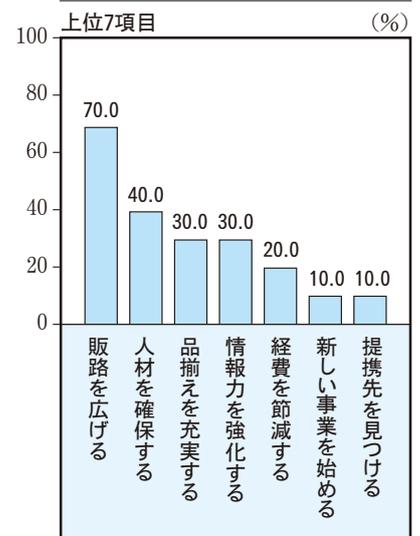
## ◆設備投資の動き(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
実 施	した	10.0	30.0	11.1	10.0	0.0
	しない	90.0	70.0	88.9	90.0	100.0
状 況	過 剰	0.0	0.0	11.1	0.0	10.0
	適 正	88.9	88.9	88.9	90.0	90.0
	不 足	11.1	11.1	0.0	10.0	0.0
DI	▲11.1	▲11.1	11.1	▲10.0	10.0	10.0

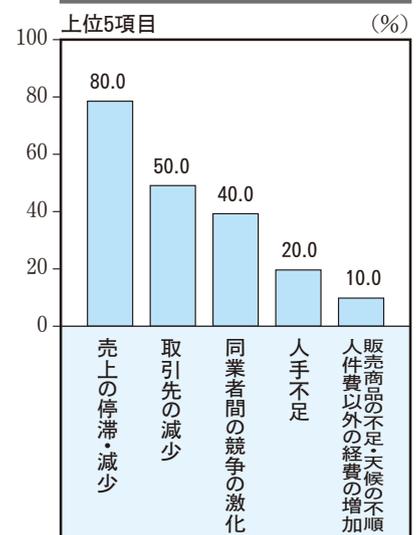
## ◆雇用面の動き(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
残 業 時 間	増 加	11.1	22.2	11.1	10.0	30.0
	不 変	55.6	55.6	88.9	80.0	70.0
	減 少	33.3	22.2	0.0	10.0	0.0
人 手	過 剰	11.1	11.1	11.1	10.0	10.0
	適 正	66.7	66.7	66.7	60.0	70.0
	不 足	22.2	22.2	22.2	30.0	0.0

## 重点経営施策(複数回答)



## 経営上の問題点(複数回答)



景況調査レポート

# 小 売 業 (調査先企業40社 うち回答企業31社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**9.7%**（前期**9.7%**）、悪かったとする企業は**61.3%**（前期**61.3%**）で、DIも**▲51.6**（前期**▲51.6**）と前期と全く変化なく推移している。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは**▲22.6**（前期**▲9.4**）で**▲13.2**ポイント、収益のDIは**▲32.3**（前期**▲25.0**）で**▲7.3**とそれぞれ減少を強めている。販売価格のDIは**▲3.2**（前期**9.4**）で**▲12.6**ポイントと上昇から下降へと転じ、仕入価格のDIは**▲9.7**（前期**▲37.5**）で仕入価格の上昇は弱まっている。資金繰りのDIは**▲29.0**（前期**▲28.1**）と**▲0.9**ポイントでやや窮屈感が強まっている。借入れをした企業は**25.8%**（前期**32.3%**）、設備投資の実施をした企業は**28.1%**（前期**29.4%**）となっている。

前年同期比で見ると、売上額のDIは**▲64.5**（前年同期**▲45.5**）で**▲19.0**ポイント、収益のDIも**▲64.5**（前年同期**▲45.5**）で**▲19.0**ポイントでどちらも同様に減少幅が拡大している。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、業況のDIは**▲71.0**（今期**▲51.6**）と**▲19.4**ポイントで更に悪化が強まる予想をしている。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは**▲51.6**（今期**▲22.6**）、収益のDIは**▲54.8**（今期**▲32.3**）とどちらも厳しさを増す見通しである。販売価格のDIは**▲16.1**（今期**▲3.2**）と下降傾向を強め、仕入価格のDIは**0.0**（今期**▲9.7**）と上昇は緩和される見通しである。借入れを予定している企業は**13.3%**（今期実施**25.8%**）、設備投資の実施を予定している企業は**15.6%**（今期実施**28.1%**）となっている。

◆DI指数推移

	2019年				2020年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	▲33.3	▲33.3	▲23.3	▲51.6	▲51.6	▲71.0
売 上 額	▲36.4	▲42.4	▲31.3	▲9.4	▲22.6	▲51.6
収 益	▲36.4	▲42.4	▲25.0	▲25.0	▲32.3	▲54.8
販 売 価 格	0.0	3.0	12.5	9.4	▲3.2	▲16.1
仕 入 価 格	▲27.3	▲30.3	▲12.5	▲37.5	▲9.7	0.0
在 庫	6.1	6.1	9.4	12.5	3.2	0.0
資 金 繰 り	▲24.2	▲21.2	▲9.4	▲28.1	▲29.0	▲36.7

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
借 入 実 施	した	30.3	12.1	37.5	32.3	25.8	13.3
	しない	69.7	87.9	62.5	67.7	74.2	86.7
借 入 難 易 度	容 易	15.2	12.1	18.8	9.4	20.0	—
	不 変	45.4	48.5	46.8	53.1	46.7	—
	難	12.1	18.2	18.8	15.6	13.3	—
	該当なし	27.3	21.2	15.6	21.9	20.0	—

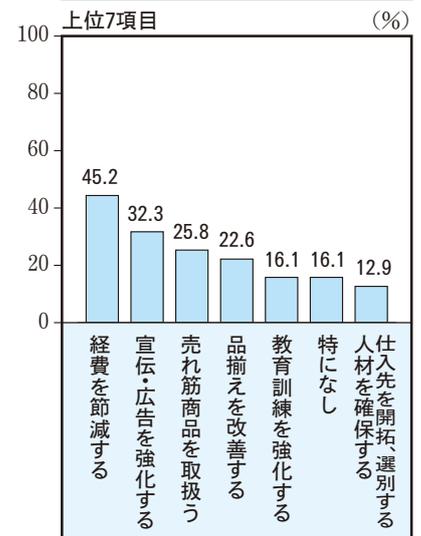
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
実 施	した	20.6	21.2	37.1	29.4	28.1	15.6
	しない	79.4	78.8	62.9	70.6	71.9	84.4
状 況	過 剰	6.1	3.1	3.2	3.1	6.5	9.7
	適 正	78.7	75.0	74.2	75.0	77.4	74.2
	不 足	15.2	21.9	22.6	21.9	16.1	16.1
DI	▲9.1	▲18.8	▲19.4	▲18.8	▲9.6	▲6.4	

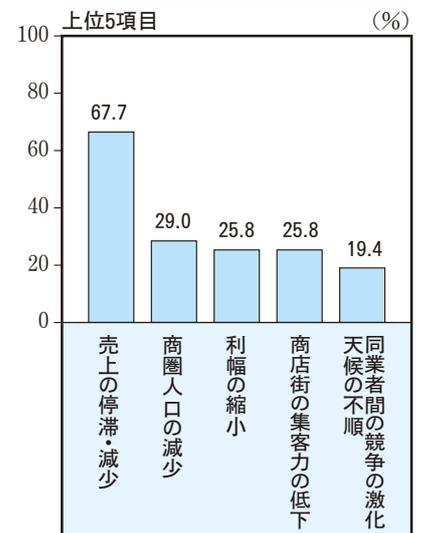
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
残 業 時 間	増 加	9.1	6.1	0.0	6.3	3.3	0.0
	不 変	90.9	87.8	87.1	81.2	80.0	83.3
	減 少	0.0	6.1	12.9	12.5	16.7	16.7
人 手	過 剰	0.0	3.0	6.5	6.3	6.7	13.3
	適 正	78.8	66.7	67.7	68.7	83.3	73.4
	不 足	21.2	30.3	25.8	25.0	10.0	13.3

重点経営施策 (複数回答)



経営上の問題点 (複数回答)



## サービス業 (調査先企業27社 うち回答企業24社)

◇**今期の業況**:今期の業況は、良かったとする企業は8.3% (前期4.8%)、悪かったとする企業は58.3% (前期57.1%) で、DIは▲50.0 (前期▲52.4) と水面下のままではあるが2.4ポイントマイナス幅は縮小している。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは▲45.8 (前期▲38.1) と7.7ポイント減少幅が拡大、収益のDIにおいても▲45.8 (前期▲33.3) と12.5ポイント更に減少している。仕入価格のDIは▲20.8 (前期▲52.4) と仕入価格の上昇幅は縮小している、料金価格のDIは▲12.5 (前期9.5) と下降に転じている。資金繰りのDIは▲37.5 (前期▲47.6) と厳しい中でもやや緩和している状況。借入れをした企業は29.2% (前期19.0%)、設備投資の実施をした企業は23.1% (前期36.4%) となっている。

前年同期比で見ると、売上額のDIは▲37.5 (前年同期▲12.0) で▲25.5ポイント、収益のDIは▲41.7 (前年同期▲20.0) で▲21.7ポイントで、いずれも減少を強めている。

◇**来期の見通し**: 来期の見通しについて、業況のDIは▲70.8 (今期▲50.0) と水面下のまま20.8ポイント下降で更に悪化が強まる予想をしている。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは▲41.7 (今期▲45.8) で▲4.1ポイント、収益のDIにおいても▲41.7 (今期▲45.8) で▲4.1ポイントといずれも減少幅がやや縮小する予想。仕入価格のDIは▲29.2 (今期▲20.8) と上昇幅が拡大する見通し。料金価格のDIは▲8.3 (今期▲12.5) と下降が和らぐ見通しである。資金繰りのDIは▲41.7 (今期▲37.5) と厳しさが増す見通しである。借入れを予定している企業は21.7% (今期実施29.2%)、設備投資の実施を予定している企業は26.9% (今期実施23.1%) となっている。

## ◆DI指数推移

	2019年				2020年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	▲56.0	▲25.0	▲45.5	▲52.4	▲50.0	▲70.8
売 上 額	▲40.0	▲4.2	▲4.3	▲38.1	▲45.8	▲41.7
収 益	▲40.0	0.0	▲13.0	▲33.3	▲45.8	▲41.7
料 金 価 格	▲4.0	20.8	4.3	9.5	▲12.5	▲8.3
材 料 価 格	▲20.0	▲50.0	▲47.8	▲52.4	▲20.8	▲29.2
資 金 繰 り	▲36.0	▲12.5	▲26.1	▲47.6	▲37.5	▲41.7

## ◆借入金の動き・難易度 (有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
借 入 実 施	し た	12.0	16.7	22.7	19.0	29.2	21.7
	し ない	88.0	83.3	77.3	81.0	70.8	78.3
借 入 難 易 度	容 易	4.3	4.2	4.5	4.8	9.1	—
	不 変	82.7	83.3	77.4	80.9	59.1	—
	難	4.3	8.3	4.5	4.8	4.5	—
	該 当 なし	8.7	4.2	13.6	9.5	27.3	—

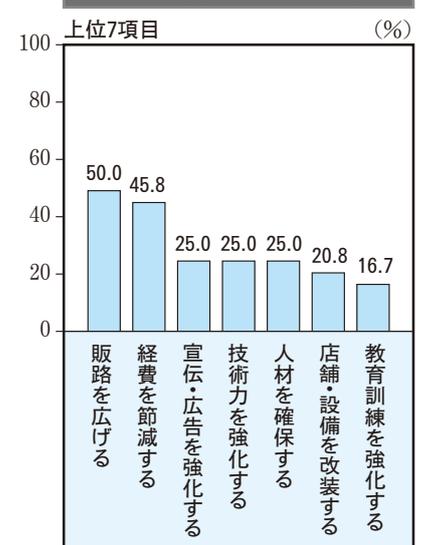
## ◆設備投資の動き (有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
実 施	し た	23.1	4.2	26.9	36.4	23.1	26.9
	し ない	76.9	95.8	73.1	63.6	76.9	73.1
状 況	過 剰	0.0	0.0	0.0	5.3	4.3	4.3
	適 正	79.2	87.0	81.8	63.1	69.6	74.0
	不 足	20.8	13.0	18.2	31.6	26.1	21.7
DI	▲20.8	▲13.0	▲18.2	▲26.3	▲21.8	▲17.4	

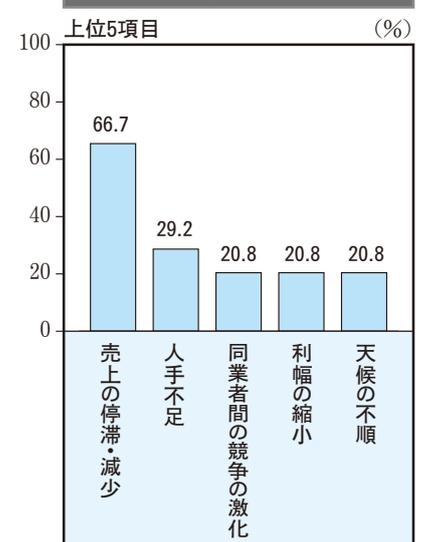
## ◆雇用面の動き (有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
残 業 時 間	増 加	12.0	14.3	14.3	10.5	9.5	14.3
	不 変	68.0	71.4	71.4	73.7	52.4	52.4
	減 少	20.0	14.3	14.3	15.8	38.1	33.3
人 手	過 剰	8.0	0.0	4.3	5.0	17.4	8.7
	適 正	68.0	60.9	60.9	55.0	47.8	52.2
	不 足	24.0	39.1	34.8	40.0	34.8	39.1

## 重点経営施策 (複数回答)



## 経営上の問題点 (複数回答)



## 不動産業 (調査先企業6社 うち回答企業6社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**0.0%**（前期**0.0%**）、悪かったとする企業は**16.7%**（前期**16.7%**）で、DIは**▲16.7**（前期**▲16.7**）と前期回答と変わらず水面下にて推移している。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは**▲33.3**（前期**▲50.0**）と**16.7**ポイント増加、収益のDIも**▲16.7**（前期**▲50.0**）と**33.3**ポイント増加し、いずれも改善されている。販売価格のDIは**0.0**（前期**▲16.7**）と上昇し、仕入価格のDIは**16.7**（前期**16.7**）と安定している。借入れをした企業は**33.3%**（前期**16.7%**）となっている。

前年同期比で見ると、売上額のDIは**▲33.3**（前年同期**33.3**）と増加から減少に転じ、収益のDIも**▲33.3**（前年同期**33.3**）と増加から減少に転じた。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、業況のDIは**▲66.7**（今期**▲16.7**）と厳しさを強めると予想している。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは**▲28.6**（今期**▲33.3**）で改善予想であるが、収益のDIは**▲33.3**（今期**▲16.7**）と更なる減少の見通しである。販売価格のDIは**▲33.3**（今期**0.0**）と下降傾向の見通しであり、仕入価格のDIにおいては**33.3**（今期**16.7**）と下降傾向を強める見通しである。借入れを予定している企業は**0.0%**（今期実施**33.3%**）となっている。

### ◆DI指数推移

	2019年				2020年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	▲16.7	▲16.7	0.0	▲16.7	▲16.7	▲66.7
売 上 額	16.7	▲33.3	20.0	▲50.0	▲33.3	▲28.6
収 益	16.7	▲33.3	20.0	▲50.0	▲16.7	▲33.3
販 売 価 格	▲16.7	▲16.7	0.0	▲16.7	0.0	▲33.3
仕 入 価 格	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3
在 庫	▲33.3	▲33.3	▲20.0	▲33.3	▲33.3	▲50.0
資 金 繰 り	16.7	▲83.3	20.0	33.3	33.3	▲16.7

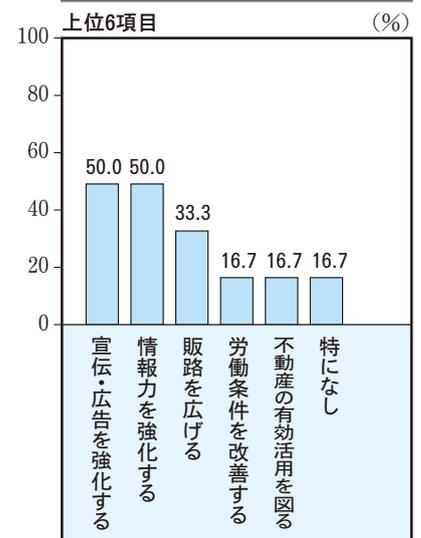
### ◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
借 入 実 施	し た	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0
	し ない	100.0	83.3	100.0	83.3	66.7	100.0
借 入 難 易 度	容 易	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	不 変	100.0	66.7	80.0	66.7	83.3	—
	難	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	該 当 なし	0.0	33.3	20.0	33.3	16.7	—

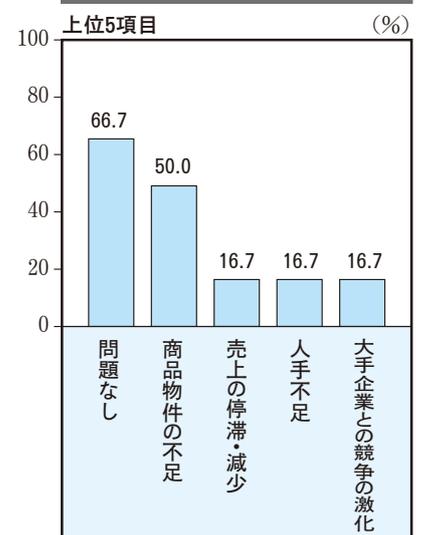
### ◆雇用面の動き(有効回答に占める割合) (%)

	2019年				2020年	予 想
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
残 業 間	増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不 変	100.0	83.3	100.0	100.0	83.3
	減 少	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7
人 手	過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適 正	100.0	83.3	80.0	100.0	83.3
	不 足	0.0	16.7	20.0	0.0	16.7

### 重点経営施策(複数回答)



### 経営上の問題点(複数回答)



## 特別調査 外国人・海外情勢と中小企業

### 問 1

海外からの旅行者(インバウンド)の増加や、外国人労働者の受入れ拡大など、近年、日本と海外とのつながりが強まっています。そこで、近年、貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会が増えているという実感はありますか。

総合では、外国の方との接触する機会について「変わらない」との回答が**78.0%**と最も高く、「非常に増えている」「増えている」が**16.8%**、「減っている」「非常に減っている」が**5.2%**となっている。「非常に増えている」「増えている」と実感している企業を業種別にみると、製造業が**23.1%**、次いで小売業が**18.5%**、建設業**14.0%**、サービス業**13.6%**と続いている。また、「減っている」「非常に減っている」と実感している業種はサービス業が**13.7%**、次いで卸売業**10.0%**、小売業**7.4%**、製造業**4.6%**と続いている。不動産業は「変わらない」の回答が**100%**となっている。

(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 非常に増えている	2.3	3.1	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0
2. 増えている	14.5	20.0	14.0	0.0	11.1	13.6	0.0
3. 変わらない	78.0	72.3	86.0	90.0	74.1	72.7	100.0
4. 減っている	4.6	4.6	0.0	10.0	7.4	9.1	0.0
5. 非常に減っている	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	0.0

### 問 2

貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している方は従業員全体に占める割合を、雇用していない方は今後雇用する予定があるかお答えください。

総合では、外国人労働者を「雇用している」との回答が**18.3%**であった。従業員に占める割合は「10%未満」が**12.0%**、「10%～20%」**4.6%**、「20%～30%」**1.7%**となっている。「雇用していない」との回答は**81.7%**で、その内「雇用する予定なし」は**78.9%**であった。

「雇用している」企業の割合を業種別に見ると、製造業が**32.4%**で最も高く、次いで建設業が**14.3%**、小売業**10.7%**、サービス業**8.3%**と続く。卸売業と不動産業は**0.0%**であったが、不動産業では「雇用する予定あり」が**16.7%**であった。

(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
外国人労働者を雇用している	18.3	32.4	14.3	0.0	10.7	8.3	0.0
1. 50%以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 40～50%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. 30～40%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4. 20～30%	1.7	3.1	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 10～20%	4.6	10.8	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0
6. 10%未満	12.0	18.5	11.9	0.0	7.1	8.3	0.0
外国人労働者を雇用していない	81.7	67.6	85.7	100.0	89.3	91.7	100.0
7. 雇用する予定あり	2.8	1.5	2.4	0.0	0.0	8.3	16.7
8. 雇用する予定なし	78.9	66.1	83.3	100.0	89.3	83.4	83.3

### 問 3

貴社では、売上全体に占める外国人(旅行者を含む)、もしくは外国企業向けの売上(輸出を含む)はどれくらいですか。

総合では、外国向けの売上が「ある」との回答は**27.3%**であった。売上に占める割合は「10%未満」が**21.9%**、「10%～20%」が**1.8%**、「20%～30%」が**1.2%**、「30%～40%」が**0.6%**で、「50%以上」の回答も**1.8%**あった。

業種別では、サービス業が**43.5%**、製造業が**42.6%**と高く、不動産業**33.3%**、小売業**29.6%**と続いている。また、建設業、卸売業の売上は**0%**であった。

(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
外国向けの売上有る	27.3	42.6	0.0	0.0	29.6	43.5	33.3
1. 50%以上	1.8	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 40～50%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. 30～40%	0.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4. 20～30%	1.2	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 10～20%	1.8	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 10%未満	21.9	27.9	0.0	0.0	29.6	43.5	33.3
外国向けの売上はない	72.7	57.4	100.0	100.0	70.4	56.5	66.7

問 4

貴社では、外国向けの売上を増加させるための取組みを行っていますか。行なっている企業は行っている取組みについて、行っていない企業はその理由についてお答えください。

総合では、外国向け売上増への取組みを行っている企業の割合は9.8%で、内容は「製品・商品・サービス面の開発強化」が3.1%、「営業力の強化」が3.1%となった。「行っていない」と回答した90.2%についての内訳は、「国内だけで十分な売上げがある」が47.2%、「何をすればいいのかわからない」が16.2%となった。

業種別では、製造業が20.9%で内訳は「製品・商品・サービス面の開発強化」が8.1%で高いのに対し、卸売業およびサービス業がどちらも10.0%で、その内容はすべて「営業力の強化」であった。(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
外国向けの取組みを行っている	9.8	20.9	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
1. 製品・商品・サービス面の開発強化	3.1	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 営業力の強化	3.1	3.2	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
3. ネットや広告による情報発信	1.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4. 海外拠点の設置・強化	1.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. その他	1.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外国向けの取組みを行っていない	90.2	79.1	100.0	90.0	100.0	90.0	100.0
6. 国内だけで十分な売上げがある	47.2	51.6	53.9	10.0	37.5	40.0	83.3
7. 何をすればいいのかわからない	16.2	4.9	17.9	40.0	33.3	20.0	0.0
8. 人材が不足している	5.6	3.2	5.1	0.0	8.3	10.0	16.7
9. 資金面で余裕がない	4.4	3.2	5.1	0.0	4.2	10.0	0.0
10. その他	16.8	16.2	18.0	40.0	16.7	10.0	0.0

問 5

貴社では、経営上特に注目している海外情勢はありますか。

総合では、「米中貿易摩擦」が45.3%、「日中関係」が25.7%、「アメリカ経済・大統領選挙」が22.3%、「中東情勢」が12.3%、「日韓関係」10.6%の順となった。これに対し「経営に影響する海外情勢はない」の回答は29.6%であった。

業種別に見ると、「米中貿易摩擦」を最も注目しているとしたのは、製造業(64.6%)、卸売業(50.0%)、小売業(32.3%)で、「経営に影響する海外情勢はない」を最も注目しているとしたのは、不動産業(66.7%)、サービス業(45.8%)、建設業(37.2%)であった。また、全業種とも「9.その他( )」に「新型コロナウイルス」関連の回答があった。(%)

【複数回答】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 米中貿易摩擦	45.3	64.6	32.6	50.0	32.3	33.3	33.3
2. 中東情勢	12.3	10.8	7.0	20.0	19.4	12.5	16.7
3. 日中関係	25.7	27.7	27.9	20.0	29.0	20.8	0.0
4. 日韓関係	10.6	6.2	14.0	0.0	12.9	20.8	0.0
5. 日露関係	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 北朝鮮問題	1.7	0.0	0.0	10.0	0.0	8.3	0.0
7. アメリカ経済・大統領選挙	22.3	30.8	18.6	0.0	22.6	16.7	16.7
8. イギリスのEU離脱	7.3	13.8	4.7	0.0	3.2	0.0	16.7
9. その他	14.0	13.8	14.0	30.0	12.9	12.5	0.0
10. 経営に影響する海外情勢はない	29.6	23.1	37.2	10.0	19.4	45.8	66.7

※この調査は2020年3月上旬までの動向をご回答いただいたものです。

## フリーローンあるプラス

ご利用利率 **年3.5%~年14.0%**

※金利は借入金額・返済期間により変動します。

お申し込み自由

お手続きカンタン

1,000円

返済期間

最長10年

アルバイト

パートの方もOK!

おまとめ・お借換え

教育

医療

レジャー・趣味

安全対策

ブライダル

自家用車

介護

旅行

リフォーム

**ご利用の一例**

業種	用途	返済期間	返済利率	返済方法
医療	ヘルパー・アルバイト・学生・本人	最長10年	年3.5%~年14.0%	元金均等返済
	介護費用	最長10年	年3.5%~年14.0%	元金均等返済
教育	入学・進学・修業費	最長10年	年3.5%~年14.0%	元金均等返済
	奨学金返還	最長10年	年3.5%~年14.0%	元金均等返済
カメラ	デジタルカメラ	最長10年	年3.5%~年14.0%	元金均等返済
	コンパクト一眼レフ	最長10年	年3.5%~年14.0%	元金均等返済
高機能	スマートフォン	最長10年	年3.5%~年14.0%	元金均等返済
	タブレット	最長10年	年3.5%~年14.0%	元金均等返済
その他	ペット購入	最長10年	年3.5%~年14.0%	元金均等返済
	ペット用品	最長10年	年3.5%~年14.0%	元金均等返済

**ローンのおまとめやお借換えにもご利用いただけます。**

ローン残高	返済期間	返済利率
150万円	10年	年3.5%
100万円	5年	年3.5%
50万円	3年	年3.5%

返済利率は借入金額・返済期間により変動します。

**ご利用のメリット**

- お申し込みが簡単で、審査も迅速です。
- お借換え・おまとめもご利用いただけます。
- 返済期間・返済利率が柔軟です。
- お申し込みから返済開始まで最短24時間です。
- 返済方法が柔軟です。
- 返済期間・返済利率が柔軟です。

**お申し込み方法**

お借入希望店舗でお申込みをいただけます。FAX・インターネット・QRコードからも仮審査のお申込みができます。

電話(借入ローンのご相談) お電話にてご相談ください。

0120-173017 平日(12/31~1/3を除く)午前9時~午後5時

店舗窓口 平日9:00~15:00

お申し込み | 審査結果のご連絡 | 正式お申込み | 返済 | ご利用開始